



SSKP つくしんぼの会報誌

# つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1998年1月号  
(No. 19)

編集～フリースペース  
つくしんぼ  
町田市小川1511番地  
TEL 0427(96)8468

## 兄・姉・弟・妹……

### 新年の「あいさつ」

みなさん、あけましておめでとございます。

(……とはいって見たものの、もうすぐ二月なのですが) つくしんぼ宛てに年賀状を頂いたみなさん、どうもありがとうございました。

節約第一主義のつくしんぼゆえ、ご返事を出さないままですみません。この紙面上のあいさつでお礼に代えさせて頂きますことを許して下さいね。

### 話はかわりますが……

最近あちこちで囁かれている話題に、障害児の兄弟姉妹の問題というのがあります。

障害児と一緒に生活してきただぶん、いろんなことを理解してくれるという長所の一方、障害児の兄弟姉妹とい

うことで友人にいじめられたり、親の注意が障害児ばかりにいつてしまったり愛情不足状態になったりし、ストレス状態に置かれることが多いと言っています。

つくしんぼの場合  
つくしんぼに通う  
子どもたちの場合も  
当然、兄弟姉妹のい

るケースの方が多いと言えます。また、養護学校の生徒の場合にはもちろんなのですが、小学校の身障学級に通っている子どもの場合でも、地域の小学校に心障学級がないため、兄弟姉妹で別々の小学校に通っているケースも存在していたりします。

まあ、このことについてとやかく言うつもりはないのですけど……。

### 兄弟同志の関係

つくしんぼには専任の職員がいないため、学童保育的な活動をしたいと言いつつ、母子一緒に来所する場合がございます。

そしてその場合、障害児の兄弟姉妹がつくしんぼに一緒に



に遊びにやってくるケースが多くあります。小学校も高学年以上

のお兄ちゃんやお姉ちゃんなら、放課後の時間を自由に使えたりしますが、幼い弟や妹の場合はなかなかそうもいきません。

というわけで、つくしんぼは必然的に「兄弟保育を伴う場所」となっています。

この状態がよいか悪いかは別にして、つくしんぼでは面白い光景が見られます。

〈障害児の兄弟姉妹同志〉が

この状況は、二人兄弟の場合に特に顕著です。自分以外の兄弟は障害児だと思いが、自然と仲間意識を芽生えさせているのでしょうか?

理由はともかくホッとさせる



♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪  
12月20日(土) 天気 晴れ

12月といえば、これはもうクリスマスです。クリスマスといえばパーティーです。ボンキッキでも毎日クリスマスのことを叫んでいるので、知らん顔はできません。今年もつくしんぼのクリスマスパーティーは、ケーキ作りからスタートでした。台座となるスポンジケーキの上に、バナナクリームとチョコクリームを塗りたい、色とりどりのトッピングで飾り、ローソクを立てて火をつけて出来上がり!!

その出来はえに、自分のケーキは持ち帰り用にし、ちゃっかり母親のぶれを食べてる子もいました。サンタからのプレゼントは大きなお菓子の袋づめでした。余ったぶれは押し入れの中。今後の活動のあやつとなるでしょう。

### タイコを作り、演奏会もやりました

12月18日の活動に、ケーナのプロの演奏家で製作もなさっている稲葉哲也さんがいらして下さり、竹を使っての太鼓づくりを伝授して頂きました。さて、その作り方なのですが……。

- ★節を取り除くようにして竹を20センチほどの長さに切断する。
- ★その切り口の片方の内側を布ヤスリで磨いて丸みをつける。



もう、これがとってもいい音色!! 単純なのにこんな素敵な音が出るなんて驚きです。みんなが完成した後は、さっそく演奏会の開始です。

稲葉さんのケーナの演奏に合わせて、竹の太鼓をたたいたり、竹の筒をそのままたたいたり、ギターをひいたり。とっても楽しい演奏会となりました。

わざわざ竹まで伐ってきて、頂いて……稲葉さん、本当にありがとうございました。

### 親と兄弟姉妹の差

私たちは障害児の親です。しかも、兄弟姉妹に障害児を持ったことのない人間ばかりです。

そんな私たちには、真の意味での「障害児の兄弟姉妹の気持ち」は理解できないのかもしれない。

そして理解できないままに「出来れば障害児の将来の面倒を兄弟姉妹にみてもらいたい」と考えてしまったりして

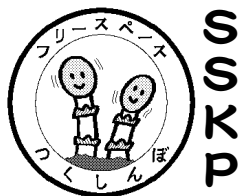
います。これではますます兄弟姉妹にストレスをかけるばかりなんです。障害児の兄弟姉妹にとって暮らしやすい未来をつくってあげなければ……。私たちはそう願ってやみません。

### 賛助会へご入会・ご更新

ありがとうございます  
箱崎様、土屋様、志岐様、豊田様、薄島様、大石様、曾輪様、佐藤様

### ご寄付・ボランティア

ありがとうございます  
高尾様、坂井様、箱崎様、高倉様、稲葉様、藤元様、山田様、田辺様、奥山様、小峯様、嶋田様  
(12月)



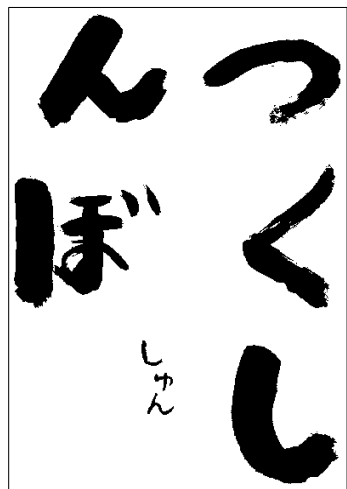
# つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

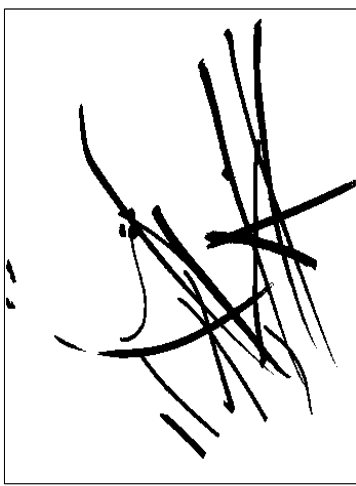
つくしんぼは、月曜日から土曜日までの午後1時から5時まで開いています。



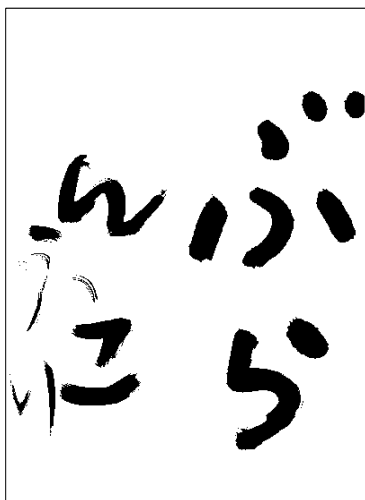
## つくしんぼ美術館 「かきぞめ」の巻



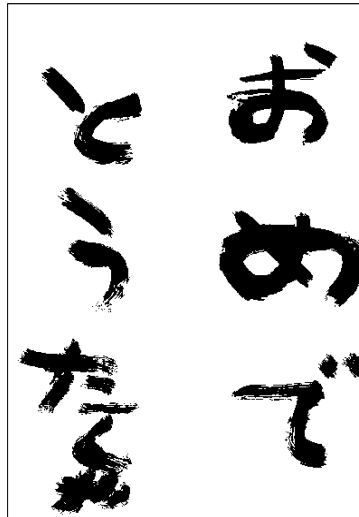
しゅんくんの作品



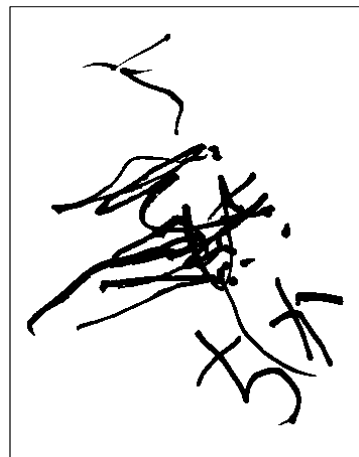
しんちゃんの作品



えりちゃんの作品



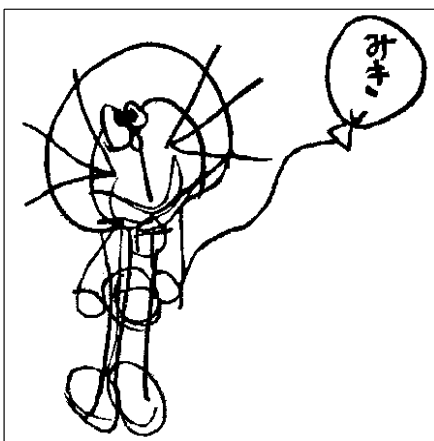
たっくんの作品



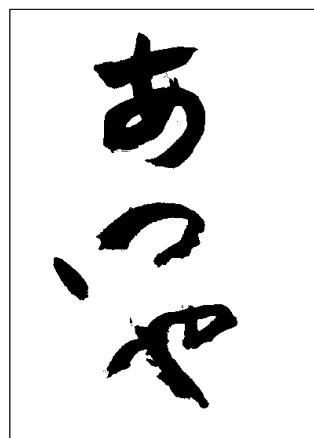
ちかちゃんの作品



ひろくんの作品

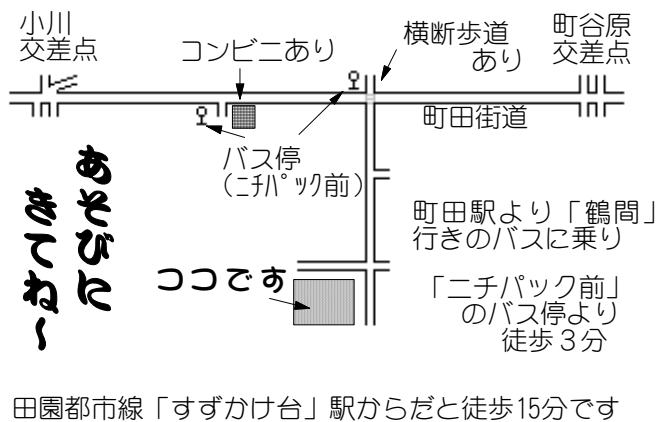


みきちゃんの作品



あっちゃんの作品

### つくしんぼの地図



私たちは、ハンディを持つ子ども達の地域内での放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを昨年五月に開所しました。

しかしながら、公的補助を受けていないつくしんぼの運営状況は、極めて厳しい状態にあるのが現実です。

そこで、皆様にお願いがいたします。本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが、「フリースペースつくしんぼ賛助会」にご入会しては頂けませんでしょうか。

お振込いただければ幸いです。

私の方には、毎月、この機関誌「つくつく通信」をお届けさせて頂きます。年会費のお支払いは、関係者に直接お渡し頂くか、お近くの郵便局より下記の口座番号にお振込いただければ幸いです。

賛助会費は年間、一〇二千円です。ご希望しております。

会員になって頂いた方には、毎月、この機関誌「つくつく通信」をお届けさせていただきます。

年会費のお支払いは、関係者に直接お渡し頂くか、お近くの郵便局より下記の口座番号にお振込いただければ幸いです。

フリースペースつくしんぼ  
賛助会ご入会のお願い

郵便振替口座番号 00120-7-168283  
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ

### 編集後記

1月4日に27歳になる男性のお通夜に行ってきました。市内にある「かたつおり」という名の法人作業所に通っている青年でした。

「かたつおり」は彼のお母さんたちが学童保育的な活動からスタートした施設で、言ってみればつくしんぼの大先輩です。つくしんぼでは、ポップコーンや綿菓子の機

械をよく借りています。私はふと、彼がいたからこそ、今の「かたつおり」があるんだろうな、と思ったりしました。そして今日もまた、彼のお母さん

が施設長をなさっている「かたつおり」では、彼の友人たちが頑張っているはず。そう、君がいたからこそ……。ご冥福をお祈り致します。

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21 協栄会 身体障害者団体定期刊行 定価50円